

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030072

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・事業期間 平成25年度～平成31年度 ・事業内容 街路灯LED化1灯用279本、2灯用6本 ・総事業費 72,610千円
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	街路灯LED化整備事業	見直し年度	平成29年度	
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	街路灯LED化整備本数		#N/A	
事業目標	街路灯LED化1灯用185本、2灯用6本	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	街路灯LED化整備(191本) 灯具交換(130個)	街路灯LED化整備工事 新日の出町(1灯用29本) 日の出仲町(1灯用19本) 本町(1灯用6本、2灯用3本) 日の出北町(1灯用4本)	街路灯LED化整備工事 幸町(1灯用7本、2灯用3本) 末広町一区(1灯用6本) 新町(1灯用4本) 緑町(1灯用18本) 潮見町(1灯用8本) 宮下町(1灯用20本)	街路灯LED化整備工事 錦町(1灯用24本) 栄町(1灯用22本)  灯具交換(130個) ※補正繰越(H28実施)15,600千円	左記のとおり(補正繰越事業)	街路灯LED化整備工事 旭町(1灯用15本) 東浜町(1灯用3本)	
	事業費(千円)	50,010	8,430	9,080	27,100	0	5,400
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	50,010	8,430	9,080	27,100	0	5,400	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	49,086	0	17,172	11,286	15,336	5,292
	財源内訳						
	国庫支出金	8,300		8,300			
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	40,786		8,872	11,286	15,336	5,292	
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等) 街路灯LED化 新日の出町24本、日の出仲町19本 日の出北町9本、本町9本 幸町10本、末広町一区6本 新町4本、緑町18本、潮見町8本 宮下町20本	(実施内容等) 街路灯LED化 錦町外 計46本	(実施内容等) 灯具交換126個 15,336千円	(実施内容等) 街路灯LED化 旭町外 計18本 5,292千円	
	【評価・実績】	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	LED化1灯用58本、2灯用3本	LED化1灯用63本、2灯用3本	LED化1灯用46本	灯具交換130個	LED化1灯用18本	
	年度達成率	0%	189%	42%	#DIV/0!	98%	
第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	0%	34%	57%	88%	98%	
	備考欄						

事業名	街路灯LED化整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	街路灯LED化整備本数	
【抱える課題やニーズは】	電気料金の高騰及び灯具の劣化による維持費の増	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	街路灯の更新による維持費等の抑制	① LED化本数	目標年度	平成29年度
			目標値	18本
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	電気料金の節減と照明設備の長寿命化	②	実績値	18本
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	街路灯LED化工事	街路灯のLED化工事を行い、照明設備の長寿命化を図った。	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	電気料金の高騰や既存設備の老朽化に対応するため、必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	事業の実施により、照明設備の長寿命化が期待される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全町民の安全に寄与するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
事業の執行により、維持費等の抑制につながり、将来を見据えた電気料金の節減が期待される。		

今後の展開方向  
(Action)

<b>継続/現状維持</b>		
電気料金や設備維持費の節減及び各年度事業費の平準化を図るため、30年度以降も計画どおり事業を継続する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止